

教職員の意思表示

「戦争する国」ではなく
憲法9条をいかし
「平和を広げる国」を
私は 子どもたちに
手渡したい。

全国の5万746人の教職員から集まった声（8月31日までの集約分・抜粋）を届けます。

全日本教職員組合（全教）・教組共闘連絡会・全国高校組織懇談会

2015.9

【北海道】

- ・平和な日本から戦争をする日本にはいけません！人を殺す殺される国にはいけません！
- ・これまでみんなで守ってきた憲法を、一時の政府の考えで勝手に解釈変更なんてしないでほしい！！
- ・日本が世界に誇れる唯一の「平和憲法」。これこそ世界に広げる努力をしたい。
- ・日本が戦争をする国になることに反対します。日本の宝、憲法 9 条を守りましょう。
- ・十分な議論をせずに、憲法解釈の変更ですすめようとしていることは絶対に許せません。
- ・憲法とは、為政者の権力を制限するものと教育では教えています。三権分立もまた、権力の独占を抑止するものです。誰が権力の暴走を止めるのか。

【青森】

- ・正義はそれぞれの国の信念に委ねられていけばいいが、戦争は、勝者が正義。他国の正義に手を貸すスネオ的集团的自衛権はいらない。眼をかけた生徒が戦地に行くなど想像すらできない。
- ・戦争被害は、文字でしか知りません。が、文字でさえも体験したくはない。させたくないほどのものであることは明らかです。「平和ボケ」ではなく、平和を広げていく日本でありたいと思っています。
- ・戦争の悲惨さを経験したことの無い世代が経験者からの忠告も聞かず、自分の信念や戦争を美化するような考えから若者や子どもを犠牲にするような愚行はゆるされない。
- ・「戦争しない国」を世界に向けて発信できる憲法 9 条は、日本の誇りです。そう思いながらこの職につきました。
- ・一部の資本家が儲けるために憲法解釈を変えることがないように、日本人一人一人が見張っていかなければならないと思います。

【秋田】

- ・政権に都合のいい憲法解釈は許せません。過去の過ちを繰り返さないよう、憲法を守るべきです。
- ・上に立つものの判断のたった 1 回の過ちで、大きな歴史の流れが変わることを自覚してもらいたいです。
- ・戦争法案には絶対反対。廃案しかありません！
- ・戦争への口実になる法案です。口先だけの法案は反対です。
- ・争いのない平和な社会、未来を子どもたちに！！

【宮城】

- ・アメリカからどう思われようと、絶対的な平和主義を保持すべきだと思う。
- ・いかなる武力も正当化されるべきではない。戦争の惨劇は忘れてはならない。戦争法は絶対反対です。
- ・戦後の平和は戦前の侵略戦争と尊い犠牲の上にあるのだと思います。同じ間違いを繰り返してはなりません。
- ・個人的なエゴで国を動かしている人の為に、大事な子どもたちを育てた訳ではない。憲法を尊重し擁護する義務（99 条）を政府は果たせ。
- ・世界に類のない“戦争の放棄”をうたった日本国憲法を大切にしたい。そして子どもたちに明るい未来を。
- ・「こんなことは予想外だった」「こんなはずじゃなかった」「こんなつもりじゃなかった」と後で気づくことのないように憲法を守って下さい。

【山形】

- ・戦争法案は憲法違反です。憲法守れ！！
- ・子どもは国の宝です。その宝を戦争のために失うことは許されません。

- ・他国の戦争に資金援助しただけでも敵国とみなされ、一般人までも犠牲になってしまう。戦争は悲しみや憎しみしか生みません。
- ・憲法学者の多くも疑問を持っています。私にも息子がいます。人ごととは思えません。
- ・ずっと戦争のない平和な国になるようしっかりと考え判断していきたい。

【福島】

- ・多様な価値観、思想が混在する世界ですべての人々に日本の主張は通じない。ならば「戦争はやらない国」であることを世界に発信すべきである。
- ・「現在の状況を考えて我国一国では国民を守れない」と総理はいいます。だから戦いをする国、できる国に協力すると。その是非を国民に聞いてくれ！その前に憲法9条を守ってほしい。
- ・自衛隊員、その家族の事を考えると何とも言えない切ない気持ちになります。現在自衛隊のみなさんは、海外で戦争することを前提にして入隊しているとは思えない。法がもし変わったらせめて意思確認は必要なのは、とあってしまいます。
- ・「安保法制」は戦争に1歩近づいている感じがします。なぜ70年平和を守ってきたことを誇りにしないのでしょうか。この国が世界に胸を張って「平和な国」と言える（70年は戦争でつらい思いをした人々が作り上げてきた）ことは何よりも大切なことだと思います
- ・武力を備えるのではなく、話術（会話力）を高め、平和的な問題解決のあり方を、子どもたちに見せていきましょう！！
- ・祖父母の戦争体験を聞き、平和主義の時代に生まれた事を幸せに感じた。この幸せは、後世につなげたいし、戦争に向かわせるために子どもを産んだのではない。

【茨城】

- ・この法案は憲法の「解釈変更」ではなく、「憲法停止」に等しい。主体的に平和をめざす国家を望む。
- ・法案の中身を論じる以前の問題。安倍政権はこの問題について「国民の信」を問うことなく、強行採決しようとしていることに問題の元があると思います。
- ・米軍の軍事作戦の片棒を担ぐことになることは明白。この国が独立国ならそろそろアメリカ離れをするべし。
- ・日本の平和国家というブランドを守りたいです。戦争は絶対反対です。

【群馬】

- ・過去の戦争でどれほどの人が命を落としたのか、こんな悲惨な戦争は二度と起こしてはならない。「憲法9条」はノーベル賞ものである。
- ・政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないよう、国民主権の世の中で、国民みんなで手を結んで平和を守りましょう。
- ・多くの学者が指摘するように、安保法案は違憲だと思う。辺野古にしろ、戦争法案にしろ、民意に反して強引に法制化しようとしている安倍政権に不信感と怒りを覚える。法治国家に住む国民としてこの法案を通してはならないと強く思う。
- ・同じ過ちは繰り返さない。
- ・戦地に教え子を送り出すために教育しているのではない。平和は対話によって築かれるものであり、武力による力の均衡や報復合戦によって生じる力の差によってつくられるものではないと思う。

【埼玉】

- ・平和憲法は理想だという人もいますが、戦争という現実を一步でも受け入れられたら、先の大戦の反省が生かされません。この平和憲法は皆の願いであり祈りです。

- ・「教え子を再び戦場に送るな」自分が高校生の時に貼ってあったのを見て「戦争？」と思いましたが、今はこの言葉の意味がわかります。こわいのは、武器より教育！というようなことを言われた方がいます。このこともよく考えなければいけない。
- ・日本が敗戦を経て現在まで歩んできた世界に誇れる、伝えられる「平和」を今一度改めて、考えてみませんか。
- ・両親は、広島県呉市出身です。母は原爆の真っ黒い雲を見たそうです。世界中が平和になるように私たちの使命は重いと思います。
- ・国際紛争を解決する手段は武力ではなく、外交力であるべきです。政治家が武力に頼るようでは、政治家の資格はありません。

【千葉】

- ・政治家は、日本のことだけを考えるのではなく、戦場が世の中から少なくなるように全精力を傾けてもらいたいもの。それが最終的には日本のためになるのだから。
- ・東日本大震災の時の自衛隊にあこがれて自衛官になった子が、殺されなきゃならないような仕事に赴くのは許せません。
- ・戦争をしない国で、世界に誇れる所なのに、どうして戦争にする方向に行ってしまうのかと思うと心配です。孫を戦争に行かせたくありません。
- ・自分の子もその友達も戦場に送りたくありません。戦争を経験された方でよかったと言っている人は1人もいません。
- ・憲法9条は、日本の宝です。過去のあやまち（戦争）を絶対繰り返さない！

【東京】

- ・愛する子どもたちのために、今大人ができることを考えたいです。
- ・教師として、親として、人間として、戦争に子どもたちを送らないことは学校という職場での共通認識です。日本の平和憲法は世界でも誇れるものです。絶対にこれを変えることを許してはいけなさと強く思います。
- ・東京オリンピックでも日本は戦争しない国です！戦争放棄を世界へ呼びかけます！とアピールできるようにしたい。
- ・忙しい中ですができるだけ国会や戦争法案の話を職場でするように心がけている。
- ・あとで振り返った時にあのときは歴史の分岐点だった、と後悔しないためにも、何としても安保法制成立を阻止しなくてはならない。

【神奈川】

- ・自分の大切な人が誰かを殺すかもしれない、誰かに殺されるかもしれない... そんな思いをするのは嫌です。安心して暮らしたい。平和って、守らないといけないものだと思います。
- ・約70年間、大切に守ってきた平和憲法をたった数ヶ月の国会討論で変えてしまうなどナンセンス(!)です。ゴリ押しと言われぬよう、時間をかけてきちんと国民の声をきいてください。
- ・外交で努力していることを国民に知らせてほしい。今まで築いてきた国や地域との「絆」を大切にしたい。
- ・これまで嫌だなと思う法案が提出されても（消費税増税とか）、思うだけで、行動はしませんでした。自分自身の不勉強さ（その意見にきちんと対抗できる考えを持てなかった）がありました。でも今回は違います。どう考えても利はありません。目先や政治家の利益のみをとって、後々大変なことをしてしまったと後悔するのは目に見えています。日本も「NO」と言えるように。これまでの日本の人たちの思いをつながなければいけないです!!!

- ・被爆地、長崎の出身です。親戚は原爆によって殺されました。また、小さい頃から祖母の空襲体験、祖父の南方での戦闘の経験を聞かされて育ちました。戦争とはとても悲惨なものです。外交上という理由があっても戦争を起こしてはいけません。平和憲法の国として世界をリードしていくべきなのではないでしょうか。

【山梨】

- ・戦争に巻き込まれるのは嫌です。自衛隊の若者が血を流すようなことは絶対にないようにしてもらいたいです。
- ・日本人として「いつでも」「どこでも」「切れ目なく」平和をよびかけ広げていきたいです。これまで守ってきたものを守り続けたいです。
- ・大国のまねをしても意味がない。アジアの小国として、平和を守り続ける唯一無二の国をめざし、世界の中で大きな発言力を持つ志の高い国になりたい。
- ・原爆投下されて戦争を永久にしない誓いはたった 70 年で破られようとしています。平和憲法があつてからこそ、日本は戦争にまきこまれず尊敬されていたのに、命を粗末にする「やられる前にやる」短絡的な今のやり方を見過ごすことはできません。
- ・若者を戦場へ送ることは絶対にさせません。憲法 9 条を守り、平和な国をこれからの子どもたちに渡していくのが、今生きている大人の責任だと思っています。「安保法案」に反対します。

【新潟】

- ・多くの憲法学者が安保関連法案を「違憲」としている。ある憲法学者が「都合の良いことを言ったら専門家、都合が悪いと素人と侮蔑の言葉をぶつける。押し通すためならどんなことでもするのか」と皮肉った。ここまで言われて恥ずかしくないのかと思う。
- ・法案の中身が明らかになるにつれて、その「違憲性」が疑惑から確信になっていきます。議論を重ねたから採決していいという話ではない。絶対廃案にさせましょう。
- ・家族や仲間が戦争被害者になるのはもちろん、生徒や子どもたちは殺人者になるのは、絶対に避けたい。
- ・「反対」の声をあげないと「賛成」したとごまかされる、危険な政府になってしまいましたね。
- ・安倍首相は国会の答弁で、「自衛隊の危険のリスクが高まるという意見は『木を見て森を見ず』の考え方であり、国民の危険のリスクを回避するために海外派兵がある」という趣旨を述べています。しかし、危険のリスクを背負っての派兵が、本当の平和になるとは思いません！反対です。

【長野】

- ・「わが子が人を殺し殺されるかもしれない」そんな国で子どもを育てたいと思うのでしょうか。出生率が下がった原因のひとつは、明らかに戦争する国になるかも…という不安です。
- ・「違憲だ」という憲法学者の声にも耳を傾けてください。「子どもたちを戦争に行かせたくない」という私たちの願いにも心を寄せてください。
- ・膨張主義の一員であろうとする安倍首相の考え方に危険を感じます。日本は大国と張り合うのではなく、均衡をはかり、平和を主張しなければならないと考えます。
- ・教え子も自分の子どもだって、戦争にももちろん行かせたくない！！だって親ですもの。それは、みな同じだと思う！
- ・専守防衛と集団的自衛権が両立するなどというのは、詭弁を通りこしてマジックです。積極的平和主義とは、積極的アメリカ国益追随主義そのものだ！

【静岡】

- ・この機会に、日本国憲法前文・第9条のすばらしさを全世界に伝えよう。そして、それが、世界の主流になるよう運動しよう。
- ・憲法9条を大切に、子どもたちに伝えて行きたい。戦争する国にはしたくない。
- ・今こそ国民は、国会周辺だけでなく、東京でも、全国の各地方都市でも全国の津々浦々で反対運動を起こすべきです。平和憲法を手離す国民は世界中から未来永久に物笑いの種になってしまいます。
- ・昨日、沖縄戦のドキュメンタリー映画を見ました。改めて、戦争ほど愚かで悲惨で非人道的なものは無いと思いました。二度と絶対に起こしてはならないもの。私は、息子達も教え子達も、全ての人達も戦争に送りたくはありません。戦のない世界を望みます。そして、平和と希望に満ちた世界を。
- ・私の愛する家族、友人、子どもたちが、殺したり、殺されたりするのは、絶対に嫌です。私も人を殺したくないですし、殺されるのも嫌です。どうぞ私達から、平和という幸福を奪わないで下さい。

【富山】

- ・憲法は、時の政権の判断でものごとをすすめることを防ぐためにあります。解釈で憲法をないがしろにするやり方は、「法の支配」そのものを壊し、ひいては国の存立を危うくします。
- ・戦後、日本は他に類を見ない経済大国になりました。その理由に、私は“憲法第9条”の存在が大きいと思います。安倍政権の憲法改悪を許してはいけません。私は今も強く心に刻んでいます。“憲法第9条”は、世界に誇れる日本独自のものだから…。
- ・危険な目にあうのは、これからの若い人達。「目には目を…」でいくのではないのでしょうか。憲法をないがしろにするような法案です。
- ・生徒の中にも「日本は戦争をする国になるのかな…」と不安を口にする子がいます。子どもたちの将来への不安をさらに大きくする、今のこの国のあり方、私には納得がいきません。NO!と言いたい。
- ・前任校で卒業後に自衛隊へ行った教え子…今のままでは、いつか戦場へ…とも危惧される…憲法9条は守るべし!

【福井】

- ・憲法9条は世界に誇れる日本の宝です。憲法を変えたり、無理矢理解釈を変えたりせずに、周囲の国とうまくやっていく方法を政治家の方々は一生涯懸命考えていくべきです。
- ・70年、戦争がなかったこの奇跡の歴史は誇るべきだ。
- ・勝手に憲法の解釈を変えないでほしい。もし、それができたら、日本は民主主義の国ではないということです。
- ・世界の状況は不安で、何が起こるかわかりません。しかし、だからといって戦争をしたり、それに加担したりして自分たちを守っていくという手段は違うと思います。人類は進歩しているということを感じて勇気を持って歩みたいです。
- ・実際に戦争など起こらないだろうと思っている人もいるだろうが、「戦争できる国」が、報道規制の動きに見られるように、国民個人の人権や尊厳を著しく規制し、息苦しい国になる、ということをよく知っておくべきである。

【岐阜】

- ・各地方議会や各団体から、安保法制反対の決議を期待したい。自民系の方には、健全な保守の姿勢を声に出してほしいし、公明党の方には、結党の理念を思い起こしてほしい。
- ・私の父は桂林、母方の伯父はガダルカナル島へ。私のいとこは、中国で父を亡くしています。身近な戦争体験者の話を聞けば「戦争法案」のまやかしはダメヨーッ、ダメダメ!
- ・戦争参加では、何も解決しません。平和と戦争放棄を訴える国々の中心国となって、地球を守っていくべきだと思います。

- ・先の悲惨な大戦の反省の上に立って定められた憲法9条の理念は、未来永劫守っていかねばならないと思います。

【愛知】

- ・教え子を再び戦場に送るなんて、絶対に許しません。
- ・次世代に戦争をもたらすことがない国としてあります。
- ・今、学校で学んでいる子ども、若者たちの将来が心配で仕方ない。70年以上前の日本の状況にそっくりだと言われる現在、何とかいとめたい安保法制だ。
- ・「安保法制」は憲法違反です。我が国は、憲法9条に則り、専守防衛に徹するべきです。
- ・これからの時代、戦争で安全保障をはかるといのはナンセンス。もっと力を入れないといけないこと（病気、環境、災害、経済格差）といったものからの安全保障をはかるべき。

【滋賀】

- ・戦後70年！！ますます平和の尊さを検証する時代。そこには、必ず憲法が存在していた。この事実には曲げられない。
- ・次の世代が困らないように、平和な社会となるように、どの政党も努力してほしいと思います。
- ・戦争という方法での解決を「仕方ない」「あたりまえ」という風潮を世界の中で作らない。その風潮の一部に日本がなってしまうのを望みます。まずは一人一人の思いから、きちんと形にしていきたいと思います。
- ・武力を持たないことを武器として、世界平和に貢献できることがあると思う。日本独自の不戦のちかいを守り平和な世界実現のためのあらゆる知恵を集めたいと思う。
- ・日本国民は戦禍の体験から、武力ではなく、対話による国際紛争の解決を決意し、この憲法を制定し、支持して国際的平和に貢献してきたこの道を世界へ広げよう。

【京都】

- ・安保法制の中身もさることながら憲法という制約を超えてことを進めようとする統治権力のあり方に問題がある。
- ・一度戦争する国となれば、安易に軍事力に頼ることになり、政治、外交、文化の上で日本が救いようのないほどスッペラな国となります。多くの死者を出した戦争を教訓としてどこまでも粘り強く平和を唱えていく日本になってほしいです！
- ・70年もの長きにわたって、日本の平和を守ってきた憲法9条は、世界でも稀有なもので、我々日本国民の誇りとすべきものです。必ず守りぬきましょう。
- ・高卒後の進路選択で自衛隊を選ぶ生徒を目の前にして「教え子を再び戦場に送」ってしまう日本には絶対にしたくない。
- ・東アジアの平和の為に、外交努力をはじめまだできることがある。立憲主義を無視して詭弁で国のあり方を変えるようなやり方には断固反対する。

【奈良】

- ・平和学習で戦争の悲惨さ、愚かさを子どもたちは学んでいます。“平和な国、世界”を子どもたちにつくってほしい。
- ・平和な時代に生まれたことに感謝して生きてきた。戦後70年が「戦前」にならぬように心から願います。
- ・戦争放棄を掲げた憲法を変えるな！軍備を強化するような法案を掲げた国に対して、先の戦争で多くの人々が亡くなった国の国民はどう思うだろう。

- ・教え子も自分の子どもも戦場に送ることは許しません。

【和歌山】

- ・「戦争法案」よりももっともつと足元を見て、国民のためになる政治をするようにしてほしい。子育て支援、教育支援。子どものための予算、次世代のための予算を！
- ・なぜ憲法を無視して進めるのでしょうか。集団的自衛権は違憲です。私は日本が戦争できる国になることには断固反対します。
- ・子どもたちのために、平和で安全な国を望みます！ 戦争できる国になっていくのは絶対嫌です！
- ・人を殺す、人が殺される、そんな手段をとらずに平和を築くことはできるはずです。
- ・「戦争法案」は憲法九条に違反です！再び子どもたちを戦場に送ることになるのは、絶対に反対です！

【大阪】

- ・「平和」とは、子どもが子どもらしく、人が人らしく生きていけることだと教え続けたいです。
- ・戦争で得るものは、過去の歴史を振り返っても何ともありません。孫、子のためにも、絶対に「平和な世界」を貫く努力をするのは、我々の義務だと思います。
- ・大切な子どもたちを戦場に送ることは絶対にしたくありません。平和のすばらしさを広げていくことのできる温かい子どもたちになってほしいです。
- ・祖父母、両親に守ってもらった平和を次は私が子どもや孫たちのために守る！

【兵庫】

- ・武力で平和を紡ぐことはできません。安保関連法案には、反対します。
- ・忘れられた歴史は繰り返すと言います。戦後 70 年、決して歴史に学ぶ心を忘れず、一人一人が考え、意思表明をしていくことが大切だと思います。私は、無条件に戦争に反対です。
- ・唯一の被爆国として「戦争する国」づくりは許しません。
- ・武力で平和をつくることができないのは、これまでの歴史が証明しています。今こそ、個人の尊厳に立脚した平和な世界をつくりましょう！

【岡山】

- ・現在、世界を覆っている問題は「戦争」という手段では解決できない。持続発展可能な世界をもたらすものは、兵器ではなく英知である。
- ・戦後の日本は、JICA や NGO の活動で途上国を支援することにより、国際平和に貢献してきました。今回の安保法制は、平和国家日本の価値を傷つけ、諸国の日本への信頼を失うことにつながり、反対します。
- ・だんだん武力行使の方向にいき、心配です。武力行使するということは、「される」ということです。戦争につながる可能性はいりません。
- ・日本中（世界中）の親が、自分の子どもを戦場に向かわせないと誓ったら、戦争はなくなるはず。私は絶対に子どもを戦場に行かせない。

【島根】

- ・未来の世代に平和のバトンをつなげること。これが今の私たちがやるべきことです。
- ・「これが『戦前』なんだ」と近頃のきな臭いニュースを見て感じています。70 年間守ってきた 9 条を絶対に手放すわけにはいきません。今を『戦前』にしないために！
- ・「国家の安全」という口実は、常に軍隊を自由に活動させるための口実として使われてきた。真の平和と安全は、軍力ではなく、諸国との信頼関係を築くことでしか成すことはできない。これを幻想

だと一蹴する者こそ、平和に対する脅威である。

- ・昨日の夜のニュースを見ていて、ストーンと胸におちた。日本は安倍首相の国ではない。安倍首相は「日本」という会社の社長ではない。日本は、“私たち”みんなの国です。強行採決は間違っているし、平和な国、戦争しない国を守りたい。
- ・かつて戦争で苦しんだ日本人々が必死の思いで（反省もこめて）つくった憲法9条を今の私たちが変えるだけの判断ができるのかと思う。ともかく戦争へ向かうことも反対ですし、近隣諸国の信頼も裏切っては平和な日本がつかれません。

【広島】

- ・「日本が戦争にまきこまれることはない」という断言は傲慢だと思います。集団的自衛権がどんな場合に行使されるかを、具体的に述べてください。きちんと答弁してください。
- ・平和主義の本当の行動は、安保法制によってはできない。憲法に違反する行動は絶対許されない。
- ・子どもたちに「お互いを認めましょう」というのであれば、社会をつくるおとなたちが、それを実践して、平和な社会をつくるべきだと思います。
- ・関係ないと思ってしまう人もいるかもしれないが、身近な人がと考えると戦争はとても怖いことが分かる。平和が広がることを願います。
- ・誰のための政治家、誰のための権利かと疑問に思う。世界＝アメリカ的な考え方が強いので、一度その道を選んだら、引き返せないと思う。

【山口】

- ・平和＝非戦です。「戦争をして平和を手に入れる」という考え方は、平和の意味を勘違いしています。
- ・海外で働く邦人を守るためと言いますが、邦人保護は自衛隊や軍隊によってではなく、国同士の平和的なつながりによるものだと思います。そのためにも9条は守らなくてはならないと思います。
- ・1人「日本国民」が殺されれば、憎悪の連鎖で歯止めが効かなくなる。それだけはしてはいけません。
- ・自分たちを守るために「戦う」ことを教えるより、「平和のすばらしさ」を教える日本にしてください。人は幸せになるために生きています。
- ・私の子どもを戦場に送ることはできません。私の生徒も戦場に送ることはできません。
- ・「国を守る」「国益を守る」「平和を守る」との口実で戦争は引き起こされてきた。歴史に学ぶことのない首相は即刻辞めるべきである！

【香川】

- ・生徒にいろいろな機会を利用して歴史上のあやまちについて語れるといいと思います。過去のあやまちを振り返ることが未来の平和につながります。
- ・戦争法案（安保法制）は違憲立法！！違憲の法律の強行は断じて許されない！！憲政に汚点を残すな！！
- ・人間は理想を現実に変えながら進化する存在であると思います。9条は理想であって現実的ではないかもしれませんが、いつか実現するため人間のさらなる進化のために必要だと思うようになりました。先人の願いを無駄にすることがないようお願いしたいです。

【愛媛】

- ・理想論かもしれませんが、やはり、どんな理由があったとしても、殺し合いは絶対にあってはいけません。
- ・自分の子どもも教え子も、すべての人々を戦場に送りたくはありません。殺し、殺される「戦争」ではなく、平和な日本を残したい！

- ・自分たちだけでなく、自分の子どものためにも戦争のない平和な世界をみんなで作り上げるべきだと思います。
- ・独立国であれば、統治権があり、統治権の中に国を守る権利があるという考えは、一見成立しそうに思うが、正しい手続きでもって国防を考えないと憲法がなし崩しになってしまう。次に来るものが何かと考えた時に、今憲法を守るという考えが大切なように思う。
- ・憲法9条を世界に広げていける国にしていくことができればいいと思います。

【高知】

- ・3人の小学生を子育て中です。最近、長男がテレビでよく聞く憲法9条について知りたいと言い出し、話をしました。「すごいね9条って」が子どもの素直な感想です。大切にしていきたいと改めて思いました。
- ・日本は、もう二度と同じあやまちをおかしてはいけません。平和憲法を大切に守り、育て、人を大切に作る日本をつくりましょう。
- ・日本の各所に戦後、いまだに被災跡がある。一番平和を願うのは、直接被災された者しかわからないと思われる。そして、反対できるのも我々日本人の使命ではないかと。
- ・今の平和（他国と比べて）な日本があるのは、過去にあやまちを繰り返さないために生まれた日本国憲法があるからではないでしょうか。世界に誇れる平和憲法9条を変えてはなりません。
- ・対外的なことも折り合いがあると思いますが、日本の立ち位置をはっきりさせて貫き通したらいいと思います。

【福岡】

- ・毎日の沖縄のニュースに胸が痛む。沖縄の苦しみは日本全体の苦しみ。
- ・憲法9条があるから戦争に巻き込まれなかった。是非9条をノーベル賞にして平和を守りたい。
- ・国会の答弁を聞いていると「今まで通りと変わらない」それなら新法をつくる必要がないとつくづく思います。戦争しない国、日本のどこが悪い？！
- ・平和な世の中にするために自分に何ができるか・・・と考えて教員になりました。子どもたちに平和を。
- ・安倍さん、自分の言いたいことだけでなく、国民・憲法学者、野党議員の声に耳を傾けてください。
- ・自分は弱いと知ったから、みんなと力を合わせたいと思いました。

【佐賀】

- ・戦争ができることが、「あの国と敵対したくない」という抑止力を生むのではなく、国際紛争のある地で汗を流している人たちのしていることが、「あの国と敵対したくない」という抑止力を生むと思います。
- ・武力には武力というような政府の姿勢。国民の意思を大切にしない政府の姿勢。教育の現場で、非暴力、思いやりを大切に育てているのに国がその反対のことをしては、子どもたちに教えてきたことは何だったのかと思う。
- ・その時の内閣で解釈が変わる法案をすすめようとするその意図がわかりません。なぜ法案成立を急ぐのでしょうか？憲法9条を持つ日本をもっとアピールしてください。
- ・憲法9条は、日本だけでなく世界の理想・宝です。
- ・戦争できる国になれば、戦争にまきこまれる。戦争をすることにつながりかねないと思います。今のまま、戦後と言い続けることができるよう、今を戦前にしない努力を。

【長崎】

- ・子どもたちの未来を戦争で悲惨なものにしないでほしい。暴力は連鎖するだけです。人道支援の何が悪いのか聞かせて欲しいです。
- ・子どもたちが笑顔で安心して暮らせる平和な世界のために、私たちは子どもを教育しています。
- ・全ての基本的人権は平和があつてこそ守られます。70年間積み上げてきた日本の平和主義、日本の信用を失墜させるようなことをすべきではないと思う。
- ・安保法制絶対反対！平和は一度手放すと、二度と戻ってきません。平和憲法に基づいた政治を希望します。
- ・政府はこの国をどういう方向に持って行きたいのか。憲法違反は明白である。私たちは戦争をしない国として歩みたい。
- ・私自身の子どもの将来・未来が私の財産です。子どものために毎日頑張っています。その未来が平和でありますように…

メッセージ集に関するお問い合わせ先

全日本教職員組合

TEL 03-5211-0123

FAX 03-5211-0124